

LTE 2013 100%

ポストドクターはとても魅力的です。でも、心配なこともいっぱいあります。

- はやく結果を出さないと評価が下がるのでは?
- 契約が切れたらすぐに契約更新してもらえますか?
- 採用されなかった企業には二度とチャンスはないの?
- 自分の希望をうまくプレゼンできない...
- 収入面は安定しているのでしょうか?
- 就職難の時代、現実には狭き門なのでしょうか?
- 学生支援にドクターの支援は無いし...
- ドクターの社会的身分は保証されにくいのでは...
- 正社員とはやはり待遇面で違いがありますか?
- 研究室に残る方が安心なのは?
- ドクターを採用する企業は少ないのでは?
- 途中でやりたいことが変わった?
- 年齢制限はあるのでは?
- ドクターは将来の選択肢が狭くなるのでは?



博士人材の就職情報満載の「群馬大学 Moodle」に登録をしましょう!  
登録キーは「koudojinzai」です。

連絡先

群馬大学 研究・産学連携戦略推進機構 高度人材育成センター  
 コーディネーター 米本 正  
 コーディネーター 平田 晋作  
 事務担当 久保田 英子

電話: 0277-30-1179, 1180 fax: 0277-30-1104  
 E-mail: pd-int@jimu.gunma-u.ac.jp

PostDoctor LTE 2013 100%



ポストドクター  
キャリアアップ  
ver.2013



只今キャリアアップ中...



- おすすめ
- ランキング
- 見どころ
- 検索
- アップデート



**道**はまきりつと**拓**かれる!

日々の研究の積み重ねを信じて腕を磨こう。  
だから、一歩前に踏み出してみよう。

扉を開いて一歩前へ! →

# 話題のPost Doctor で高速キャリアアップ!!

PostDoctor LTE 2013 100%

インターンシップにて就職受入賛同企業

**NH株式会社**  
我社にないアプローチや研究機関との連携を活かしてくれたことは、私たちの職場に良い刺激と影響を及ぼしてくれたと感じています。企業はチームで成果を生み出すことが多いので、コミュニケーション力を学生時代に磨いておくことを期待しています。

**株式会社M**  
インターンシップは専門性と人物が企業のニーズにマッチしているかをじっくり確認できる有効なものと感じました。我こそはと思う人は今後も受け入れられますので先輩に続けてください。

**O精密株式会社**  
大学院生は、学歴的・年齢的に、専門的知識技能以外の人間性的側面については、改めて企業内で教育することを前提していません。重要な採否判定項目となっております。そのような観点で、社会人教育の環境も大学院に期待するところです。

**Rシステムズ株式会社**  
大学院生が高度な知識や専門性を有している反面、企業における業務とのマッチングが難しくなっているように感じています。インターンシップはマッチングを図る有効な手段だと思います。

**株式会社S**  
多少専門分野が異なっても、研究経験の多いインターン生はすぐに応用対応できる高い力を身に付けています。スピードを必要とする社会では論理思考と実行力が必要です。広い視野とバランス感覚も期待しています。

**株式会社H製作所**  
企業は皆さんの専門性を活かしてもらいたいと思っていますが、時として多少研究領域を変えてもらうこともあります。応用力とチャレンジ精神のある方を求めます。

**A株式会社**

おすすめ ランキング 見どころ 検索 アップデート

PostDoctor LTE 2013 100%

受入企業様からの声

**新しい風を起こしたインターンシップ**

今回のインターンシップは、インターン生の経験を増やしただけでなく、社内の良い刺激を与える結果にもなりました。日頃、目先の業務に気を取られている人が多い職場に、じっくりと本質を追究する姿勢を持ったインターン生が入ったことで、ずいぶん雰囲気が変わりました。三桜工業にとって「ポストドクター・インターンシップ推進事業」の制度利用は初めてのことでしたが、社内に新しい風を吹かせるために思い切って4人を同時に受け入れました。少し無理をしたのですが、結果的にこれは正解だったと思います。

これまで手が回らずに進まなかった事象解析、理論構築、数式化が大きく進みました。多少、専門分野が異なっても研究開発できることを証明したと言えます。

三桜工業株式会社  
グローバル開発本部  
研究開発部 副部長  
後藤 直哉 さん

いいぞ! 56件

ポストドクターの声

○新村素晴(生産工学専攻)  
実際に会社にいると、その中の人の動きが見えるようになります。見えるようになるまでいくらか時間を要しますが、インターンシップの3ヶ月間というのは十分な期間です。仕事があり、その周りに人が集まるというイメージを持つようになります。この点は大学ではなかなか考えられません。また、会社では社会人としての経験や常識は当たり前とみられます。その点は心に留めておいた方が良いでしょう。

○金子茂夫(物質工学専攻)  
研修先では人に恵まれ、良い職場体験ができ、入社することができました。まだまだ、これから頑張らなければならないことが多いと思いますが、継続して努力を積み重ねていきたいです。博士課程やポストドクで苦労した経験は今後の心の糧になると思います。苦しいときに努力したことは一生の宝になるので、皆さんも将来に対する不安はたくさんあるにしても今の時間を大事にして、前に向かって努力を続けてほしいと思います。

○小林 敦(物質工学専攻)  
博士課程後期の際にも、企業へインターンシップの経験をしたことが、同じ研究開発を行う部署であっても企業によって特色があると感じました。大学でポストドクターとして働いていたときは自由な部分が多かったが、企業ではルールが細かく決まっております。合わせる努力が必要です。それでもすぐに慣れますので心配はありません。また、企業においては、自分の意見を積極的に発言すべきだと強く感じました。インターンシップを経て、社会人としての自覚を得ることができたと思っています。

○ウメイニ・アマラチュク・ヴァレンタイン(電子情報工学専攻)  
私は、企業における開発研究において、私の持つスキルを実際に活かすことで、光学、電子工学分野における新たな製品やシステムを創出し、社会、環境の持続的発展に役立つとともに、研究とビジネスを結び付けたいと思っておりました。しかし企業ではプロジェクトの範囲が広く、それをうまく行くようにするためには様々なスキルが必要となります。それでも三桜工業では、担当者やプロジェクトリーダーから貴重なアドバイスとサポートを頂いてプロジェクトを進めることができました。さらにビジネスマナーと車の技術を学ぶことができました。

いいぞ! 78件

おすすめ ランキング 見どころ 検索 アップデート